



第2回静清バイパス 自転車安全利用ワークショップを開催しました

静清バイパス側道部は沿線に高校が立地しており、多くの高校生が自転車で利用しているものの、自転車の通行空間が明確になっていないことや、交通安全上問題のある箇所も存在しています。

静清バイパス側道部における安全な自転車利用空間を道路利用者の皆様と検討するため、「第2回1号静清バイパス自転車安全利用ワークショップ」を平成25年7月11日（木）に開催しました。

■第2回ワークショップでの主な説明事項

ワークショップの目的

1. 利用者のニーズを反映した安全で快適な自転車通行空間の創出のため、利用者の方々と一緒に対策方針を考える。
2. 自転車通行空間整備後の適切な自転車の利用を促進するため、自転車のルールやマナーを理解していただく。

第3回に向けた宿題

とりまとめた課題について現地にて確認するとともに、静清バイパスにふさわしい自転車通行空間の整備をイメージする。

ワークショップスケジュール

第1回 平成25年3月21日(木)	・ワークショップの概要説明 ・自転車通行ルール・マナーの勉強①
第2回 平成25年7月11日(木)	・課題の抽出・共有 ・自転車通行ルール・マナーの勉強②
第3回 平成25年9月頃	・課題への対策方針の意見交換 ・自転車通行ルール・マナーの勉強③
第4回 平成25年11月頃	・各区間の対策方針の検討 ・自転車通行ルール・マナーの勉強④
第5回 平成26年1月頃	・各区間の対策方針の決定 ・自転車通行ルール・マナーの勉強⑤

■静清バイパスにおける課題

第2回ワークショップでは30名の方にご参加いただきました。静清バイパスにおける自転車走行空間に関する課題について意見交換を行い、①道路構造に関する課題、②自転車走行マナーに関する課題、③自動車マナーに関する課題、④自転車走行の案内に関する課題が挙げられました。

①道路構造に関する課題

- ・幅員が狭い箇所や側道と副道の交差点部では、自動車と自転車が接触しそうになる。
- ・勾配が急な箇所がある。
- ・樹木やフェンスにより遮られ、自動車・自転車のお互いを認識できない箇所がある。
- ・照明灯の設置がなく、夜間の自転車走行が危険な箇所がある。
- ・道路の路面状態が良くない箇所がある。

③自動車のマナーに関する課題

- ・副道に停車している自動車があり、避けようとする自転車と走行する自動車とが衝突しそうになる。

④自転車走行位置の案内に関する課題

- ・自転車の走行する箇所がわかりにくい。
- ・歩道上の自転車通行を許可する看板はないので歩道を走行してよいのかわからない。

②自転車のマナーに関する課題

- ・自転車走行の基本的なルールを理解していない人が多い。（特に新入生は事故が多い。）
- ・通学時間帯は自転車の交通量が多く、車道を走行している。
- ・横断箇所において、一時停止無視や信号無視、信号を避けて信号待ちの自動車間を横断する自転車が見られる。
- ・勾配が急な箇所ではスピードを出している。

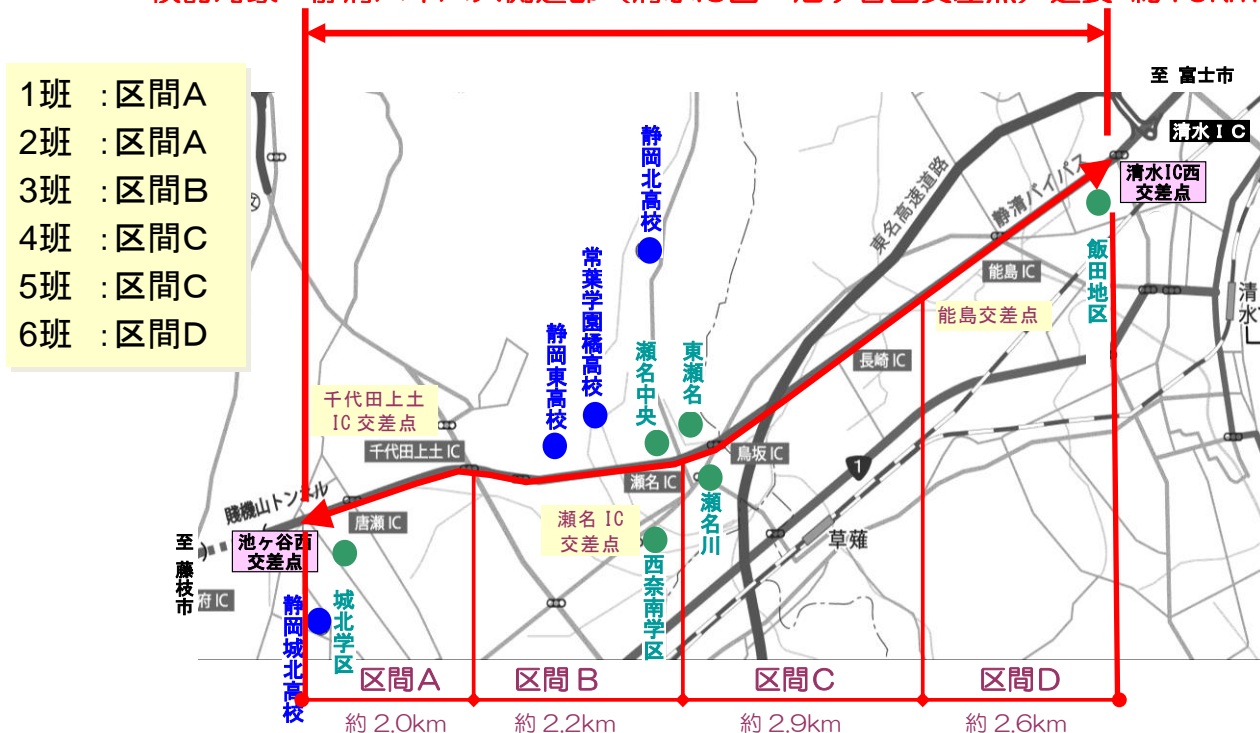


■ワークショップのメンバー

	氏名・所属等
ファシリテーター	埼玉大学大学院 小嶋文助教
専門	しずおかモビリティ研究会 村井裕代表
沿道住民	沿線の連合自治会
自転車利用者	沿線の高等学校
プロドライバー	タクシー協会
自治体	静岡市、静岡県
警察	静岡県警察
交通安全協会	静岡県交通安全協会
事務局	静岡国道事務所（交通対策課）

■対象範囲

検討対象：静清バイパス側道部（清水IC西～池ヶ谷西交差点）延長=約10km



※ワークショップでは、事前に参加者から頂いた様々な課題について、対象区間を4区間に区分し、6グループに分けてグループ討論を実施

《問い合わせ先》

静岡国道事務所
 静岡県静岡市葵区南安倍 2 丁目 8-1
 電話 054-250-8908 FAX 054-250-8911
 窓口 交通対策課 諸田

